

年 組 名前：

問1

つぎ ばんしやう
次の文章の①から⑥に
あ 当てはまる数字を答えて
ください。

がつけうじゆんいこう
『①月中旬以降、

きやうとうちく ふくすう はたけ
峡東地区の複数の畑で、

やく こ もち どうなんひがい
約②個の桃が盗難被害に

あった。

どうなん かせ たいさく
盗難を防ぐ対策として、

ししやくいん やく にん
市職員ら約③人が

④グループに分かれ、

ごご じ よくじつ ごぜん じ
午後⑤時から翌日の午前⑥時まで、

ドローンを使い監視活動を行った』

- ①..... ②..... (2022年7月9日付 山梨日日新聞 26面)
③..... ④..... ⑤..... ⑥.....

桃盗難 ドローンで監視

甲州、山梨市 赤外線で不審者発見

果実の盗難防止のために運用する赤外線カメラなどを搭載したドローン
甲州市塩山小屋敷



峡東地域で相次ぐ桃の盗難被害を受け、甲州、山梨両市は7日夜、ドローンを使った桃畑の監視活動を始めた。今後、人の体温など熱に反応する赤外線カメラで撮影しながら、夜間に不審な人物や車が畑にいないかを確認する。地元JAは近く、畑周辺に小型の監視カメラも設置する予定で、例年以上に防犯対策を強化している。(松本飛勇馬)

6月中旬以降、山梨、笛吹両市の複数の畑で合計約1万5400個(約407万円相当)の桃が盗まれたことを受け、甲州、山梨両市が監視活動を計画。昨年度、甲州市とドローンを使った空撮・調査の実証実験を行った埼玉県の企業「ヘキサメディア」が協力した。

初日の7日は両市職員やJAフルーツ山梨、日下部署から約20人が参加。2グループに分かれ、午後10時ごろから8日午前3時ごろまで甲州山梨両市内計8カ所でドローンを飛行させた。甲州市塩山小屋敷の塩山ふれあいの森総合公園付近の桃畑では、パイロットが赤外線カメラやスポットライトを搭載されたドローンを操縦し、不審な人や車がいないか確認した。

ドローンを使った監視活動は10月上旬のシャインマスカットの収穫期まで不定期で実施する。甲州市農林振興課の担当者は「盗難防止に向けた緊急の運用。行政としても農家が大切に育てたフルーツの盗難防止対策を講じていきたい」と話した。

一方、JAフルーツ山梨も盗難防止策として、5〜四方のカメラを畑の支柱などに設置し、24時間監視ができるシステムを試験的に導入する。スマートフォンなどで常時確認できるといい、担当者は「桃だけでなくブドウの盗難防止にも活用できる。さまざまなグッズを駆使しながら果物を守りたい」と話した。

問2

かんし
監視するドローンは、どのようなカメラで、どのように確認しますか。

どのようなカメラ：.....

どのように確認：.....

問3

つか いがい
ドローンを使う以外に、どのようなシステムを試験的に導入しますか。

.....
.....